

「博多」のサントム・オム・フインター

あつという間に1年の半分が過ぎ、やってきました「山笠があるけん博多たい！」の7月です。今年は4年ぶりの通常開催のため早起きをして行く予定の小学生親子が計画を立てていました。山笠の流れ地区を清める「注連下ろし」に始まり最終日の「追い山」へ向けてたくさんの方々の行事がありますが、人形師たちが手掛ける見事な飾り山、「博多祝い唄（祝いめでた）」の調子と手拍子、駆け抜ける男衆たちの「オイサ」の掛け声と勢い水など、「博多の夏」を肌で感じてみてはいかがでしょうか。

そんな今日は「蜘蛛の巣を捕って観察しよう」と思っていたのに朝起きて見たらいないんだ。なんで？」という男の子と一緒に凶鑑で調べ、ぴったりの絵本を読みあっています。風に糸をなびかせ器用にまるい蜘蛛の巣を張り、朝になったらきれいに畳む蜘蛛です。作者の彫刻家でもある新宮晋さんは天神から明治通りを中洲へ渡る橋の横にある水上公園に「風のプリズム」という彫刻も造られています。風を目でも感じながら山笠ウォークの休憩もできます。



『くも』
新宮 晋 作
青野 健 装丁
文化出版局

絵本のロマンワードの福岡

HJインターネット部門 締切直前情報

6月28日、今現在、応募総数281作品です。月末必着まであと少し。あたためていらっしゃる方はお早めに！6月30日必着

ペンギン豆知識
ペンギンの仲間達 101

☆ペンギンクイズ

孤独を好む習性がある動物園では見られないペンギンは、何ペンギンでしょうか？



答え キガシラペンギン

群れが提供する集団防衛を放棄することになるため、危険にさらされる可能性が高くなってしまます。

『ペンギン大図鑑』
ディビッド・サロモン 作
出原速夫・菱沼裕子 訳
ペンギン基金 河出書房新社より

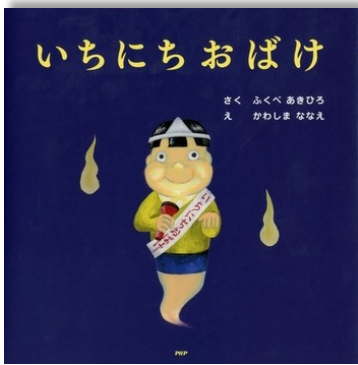


「恐怖の絵本展」
開催！
7/2 ~ 8/31

おすすめの絵本

7・8月の絵本展は、みんなの大好きな「怪談・ホラー」。「じごく」、「本当にあった怖い話なし」、「鬼」、「かわいおばけ」の5つをテーマとした「恐怖の絵本展」を開催いたします。

「おばけって、怖いなく」と怖がりの男の子。「ほくもおばけになったら怖くなるかな」と一日おばけになることにします。「いちにちからかさおばけ」は、雨が降ってもへっちゃらだ。「いちにちくちさけおんな」は、ケーキやピザもなんでもひとくち。「ミイラ男」に「雪女」、「のっぺらぼう」に「ろくろくび」。おばけになってみるたび段々楽しくなってくるよ。君も一日おばけになってみない？楽しく思えていつの間にかおばけが怖くなくなるかもしれないよ。



『いちにちおばけ』

ふくベ あきひろ 作
かわしま ななえ 絵
PHP 研究所

司書 矢野 好美